GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代蓄電池・次世代モーターの開発
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	スマートモビリティ社会の構築
c.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	グリーンケミカル

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	次世代蓄電池・次世代モーターの開発
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、GHG削減において投資効果が十分であると判断した当該製品を優先的に調達・活用することを通じて、製品製造時のGHG排出量削減に取り組むことで、ライフサイクル全体でGHG排出量が少ないバイオマス素材製品を社会に提供することでグリーン製品市場の確立・拡大に貢献します。

b.	スマートモビリティ社会の構築
対象行動	宣言対象製品の調達・購買
概要	当社は、GHG削減において投資効果が十分であると判断した当該製品を優先的に調達・活用することを通じて、物流時のGHG排出量削減に取り組むことで、ライフサイクル全体でGHG排出量が少ないバイオマス素材製品を社会に提供し、グリーン製品市場の確立・拡大に貢献します。

c.	グリーンケミカル
対象行動	研究開発・実証

概要	第2世代バイオエタノール製造技術の開発・実証

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	次世代蓄電池・次世代モーターの開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	スマートモビリティ社会の構築
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

c.	グリーンケミカル
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	次世代蓄電池・次世代モーターの開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	スマートモビリティ社会の構築
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

c.	グリーンケミカル
目標年度	
定量的目標	

選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年9月28日

日本製紙株式会社

取締役 執行役員 SX推進本部長 渡邊 恵子